

復旧・復興に向けて全力投球

南三陸町から新たに集団避難22人

南三陸町から2回目の集団避難が開始され、中新田交流センターで避難所生活をされている方が72人となり、連日、多くのボランティアに支えられて避難所を運営しています。



町を代表して町長が歓迎のあいさつ

感謝のうた



交流センターへ避難している工藤真弓さん(南三陸町)が「感謝のうた」を町へ寄贈。

感謝のうた
加美町の「かみ」は
神さまの
かみ
いのちを
救って下さった
お部屋に
お花が活けてある
人の
想いが
活けてある

加美町の受入人数
 避難所:中新田交流センター

女川町	5人
南相馬市	11人
南三陸町	54人
双葉町	2人
避難者合計	72人

【4月25日現在】

町内家庭への避難者数
 震災に伴う他市町村から加美町への避難者数

世帯数	58世帯
人数	175人

【4月25日現在】

4月21日、南三陸町から6世帯22人が、中新田交流センターへ到着し、歓迎のセレモニーが行われました。佐藤町長は、「一つの町だけの問題ではなく県全体の問題。一日も早い復旧を願う」とあいさつ。さらに「町としても皆さんを全力でケアしていくので安心してください。まずは心と体をゆっくり休ませ、次のことを考える時間を作ってほしい」と伝えました。その後、後藤一磨さん(南三陸町)が先に加美町へ避難されている方々を代表し「ここに来て、発見したことは、命があること。いろんな人が訪ねてきて人と人との繋がりをを感じる。同じ時代を生きる本当の意味を感じさせてもらっている。命を助けてもらった。復興し、いつ恩返しできるかわからないが、私たちが元気になることが恩返しの第一歩。一緒にやっつけていこう」と、新たに生活を共にする仲間を勇気づけました。



4月12日、石巻市から避難していた田中範子さん家族4人が、石巻市のアパートを借り、新たな生活への第一歩を踏み出しました。

田中さんは、避難所第1号の退所者とあって、玄関で職員や他の避難者から「良かったね、おめでとう」とエールが送られました。

田中さんは「皆さんに親切にされ、感謝の気持ちでいっぱいです」と目に涙を浮かべていました。

新たな生活を踏み出す

大津波体験談

山本 進さん(女川町)



プロの料理人としても活躍されていた山本さんは、現在、交流センターでの食事作りに進んで参加。その料理の腕を遺憾なく発揮していただいています。

3月11日の地震発生直後に、町防災無線の放送で「6~7mの津波が来るだろう」と聞き、自宅は海より10m高い所に建てられているから大丈夫と思った。しかし、津波は18mを超える大津波。一瞬で家が消えた。暗闇の中、妻や隣人と8人で、高台の竹藪まで、背後から迫りくる大津波の恐怖と闘いながら段々畑200mを必死で駆け上った。津波が膝まで到達すると一気に引き波へと変わり、気がつくやうに履いていたスニーカーがなかった。その後、雨が降り続き凍えるような寒さの中、8人身を寄せながら竹にしがみつき一夜を過ごした。翌朝、風景ががれきの山へと変わり果てていた。普段は、体育館まで徒歩で約20分。しかし、がれきの山が行く手を阻み4~5時間かかり、着いた時はもうクタクタで動けなかった。その後、避難所で過ごす。

加美町に住む弟が、テレビに映った自分を見つけ、すぐに駆けつけてくれ「ありがたかった」と話してくれました。

◆義援金ありがとうございます

義援金が多数寄せられ、心より感謝申し上げます。今回紹介できなかった分については後日紹介させていただきます。(順不同、敬称略。)

4月20日現在)

【銀行振込】

- ・スコシデゴメンガンバレ …………… 1,129円
- ・アイトルビット …………… 2,000円
- ・サトウスグル …………… 10,000円
- ・イトウイサム …………… 20円
- ・タケナカヒロアキ …………… 10,000円
- ・ミウラジュンイチ …………… 50,000円
- ・チヨウコウジユウシヨク カドワキリュウユウ …… 100,000円
- ・カミシヨウコウカイナベマツリ ジツコウインカイ …… 48,925円
- ・スガワラタカシ …………… 1,000円
- ・カーブスイオンガウエ …………… 30,450円
- ・ナカニシヨウスケ …………… 10,000円
- ・ササキエイイチ …………… 30,000円
- ・マツオカタカコ …………… 1,000円
- ・ササキケイコ …………… 20,000円
- ・イトウマサアキ …………… 20,000円

【現金持参等】

- ・NPO法人くもりのち晴れ(大崎市) …………… 5,000円
- ・玉川電気株 …………… 500,000円
- ・玉川電気株玉和会 …………… 200,000円
- ・玉川電気株宮城工場従業員一同 …………… 49,913円
- ・今野商店今野利満外お客様募金(東町) …… 96,904円
- ・ハリマ共和物産株 …………… 589,041円
- ・古内七男(旧小野田町原町出身) …………… 30,000円
- ・山田朔子(十日市) …………… 70,000円
- ・加美町地上デジタルテレビ組合 代表 瀬戸寛 …… 30,000円
- ・中新田婦人会 代表 星洋子 …………… 30,000円
- ・幸野直太郎(中新田城内) …………… 50,000円
- ・幸野キミ子(中新田城内) …………… 30,000円



玉川電気株様から義援金

◆災害対策本部の対応

4/16～20 第43～44回 南三陸町からの2回目の集団避難の受け入れ検討。

4/22 第45回 義援金の分配等検討。

4/25 避難元からの通知や情報を的確にお届けするための避難者情報調査開始。



◆数々の支援に感謝

町との災害協定等に基づき、多くの団体・企業から食料品、生活用品など様々な物資を提供いただいています。このほか、個人からも多数支援をいただいています。(下記は提供された物資の一部で、他は、後日紹介させていただきます)(順不同、敬称略。4月5日現在)

これらの物資は、避難された方々への救援に活用させていただきました。



セントラル自動車から自転車10台

- ・東北電力 …………… ホッコイロ等
- ・アスカカンパニー …………… 衣類等
- ・小野田ふるさとの味研究会 …… みそ等
- ・太子食品 …………… 豆腐、もやし等
- ・小野田中学校 …………… 薬、マスク、オムツ等
- ・つばさ歯科医院 …………… 歯ブラシ、歯磨き粉等
- ・ゆ〜らんど …………… 歯ブラシ、カミソリ、クシ等
- ・今野醸造 …………… 味噌、醤油、薬等
- ・荻原商店 …………… バナナ等
- ・ハリマ共和物産 …………… マスク、歯ブラシ、オムツ等
- ・勝栄堂 …………… うぐいす餅、さくら餅等
- ・伊藤新聞店 …………… 河北新報等
- ・加美町社会福祉協議会 …… 衣類、毛布類等
- ・内海農園 …………… 生花等
- ・セントラル自動車 …………… 自転車、菓子等
- ・大林組東北支店営業第四部 …… 食料、飲み物等
- ・渋谷(東京都町田) …………… 紅茶、洗顔料等
- ・青砥美代子(原町) …………… 衣類等
- ・近藤晃 …………… 菓子等
- ・小関誠(岡町) …………… 大根、こんにゃく、古着等
- ・佐藤すみ代(雷) …………… 生花等
- ・尾出弘子(下新田下) …… 生花等
- ・門沢区民生委員 今藤貞子 …… 衣料品等
- ・匿名 …………… オムツ等
- ・匿名 …………… りんごジュース等

◆交流センターでボランティア

毎週日曜日、大崎市の佐々木カイロプラクティック経営、佐々木一郎さん(新丁)がマッサージを提供。疲労や緊張で収縮した筋肉をほぐすサービスに皆さん喜んでいました。



4/9、星栄商店経営の星佳宏さん(西町)が昼食に温かいうどんを提供。献立がカップラーメンから変更になり、おいしいうどんに皆さん笑顔でした。